

障害児通所施設 カレッジガーデン 自己評価表【事業所用】

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10	3	施設基準は満たしているが、児の活動に合わせ現状よりも広いとより個性を持った活動になるかと。児童によっては機器が多く狭く感じることがある。児5人や児童によっては時折狭く感じることはあるが、整理整頓し工夫して安全に活動できている。三段のワゴンを利用する等お友達の荷物と間違ったり、混ざらないように工夫している。狭い空間ではあるが、パーソナルスペースは確保されており、機能的空間となっている。
	②	職員の配置数は適切であるか	13	0	児童一人に対し看護師、保育士1人ずつ担当を決め対応している。昼休憩やスタッフが活動準備で少なくなっても目が行き届き手が届き急な対応も行動し易く自己予防となっている。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	13	0	バギーでの送迎のしやすさや、多種多様に対応できるような物品も多くそろえている。その子どもにあった場所や椅子を用意し、全員で情報を把握するようにしている。生活空間が機能的に作られている上に、子ども達の場所もある程度同じ場所に固定し、なじみのある空間になるようにしている。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	12	1	児童の体温調節を考え配置をしたり、空調管理、換気を行っている。児の活動に合わせて、寝具・荷物の配置等日々工夫しているがその日の荷物等によっては活動スペースがやや狭くなることもある。1日の終わりには毎日消毒、清掃を行い、清潔を心掛けている。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	13	0	毎日の終礼で日々の振り返りを行い、次回へ活かし改善している。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	6	日々連絡帳、面談などで意向などは把握している。評価を受ける事が初となる。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	9	今後公開予定。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	9	今後評価予定。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	13	0	文献の共有、研修や勉強会を実施した。夏期は行えたが、日常の業務では時間的に難しいが、児発の子ども達だけの時や学校休業日を利用して呼吸器などの機械や病気についての研修会を行っている。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	13	0	6か月ごとに面談実施し、作成している。児童発達支援管理責任者、看護師、保育士、PTでそれぞれ考え目標を設定している。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	11	2	専用のアセスメントシートにそって情報収集し活用している。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	11	2	児童に対して個別に支援を行う等全体のスケジュールを決め個別に対応する事や支援学校への就学支援に対して移行支援を行い、家族と共に取り組んでいる。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	12	1	定期的に支援内容が計画に沿ったものが話し合う機会があってもいいのでは。計画、立案時、児の個性に合わせた計画を立て日々成長・発達する児に沿った支援となっている。今後、成長・発達に伴う計画の修正もタイムリーに行っていく。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	13	0	保育・看護・PTで考えて行っている。やり方やアイデアなど話し合い、成長につながるような活動を考えている。立案後、児童発達支援管理責任者がチェックし必要に応じて変更、改善がなされている。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	13	0	定期的にリーダーが変わり月の療育プログラムが作られている。日々の制作など常に新しい計画を立案して週変わりで毎週違うプログラムにしている。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	13	0	集団活動の中でそれぞれの子どもの合った活動の仕方を考えている。プログラムに添って活動しながら個人に合った支援をしている。
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	13	0	朝礼で当日の流れや注意事項等確認のアナウンスがある。その日の予定等を確認している。	

	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	13	0	毎日終礼にて欠かさず行われている。必ず反省会を行い、スタッフ全員が支援に必要な情報を伝え合っている。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	13	0	日々、カルテに記載し、次回へ活用している。療育、看護、共に記録に残し、必要であればカルテを変更している。
	⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	12	1	6か月ごとに見直し、面談をしている。定期的に行う必要あり。毎日の振り返りで行っている。今後その見直した内容を計画書にもタイムリーに反映することが必要。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	12	1	管理者が担当者会議に必要時参加している。今後、介入できたらいいと考える。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	13	0	相談支援員と必要時連携している。保健師等から相談支援専門員に入る情報を共有し支援する。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	13	0	江東区、江戸川区、墨田区行政や訪問、担当医、教育、病院関係者や児童の相談支援員など連携して情報共有している。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	13	0	児の気になることなど連絡ノートやMCSなどを使って連絡をとっている。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	11	2	必要時行う。特別支援学校、葛飾盲学校、大塚ろう学校、城東分教室への情報共有や連絡体制を整え実施。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	13	0	看護師が訪問する等、教員と情報共有している。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	11	2	皆2〜3カ所の事業所を利用している為、管理者は連携を取っている。今後もっと連携していきたい。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	12	同じ団地敷地内に幼稚園や保育所があるがコロナ禍で集まる事を控えた。コロナの影響がなくなったら周りの施設とのイベントを考えられたら良いと思う。今後検討。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	7	6	管理者が自立支援協議会・児童部会へ参加。今後も参加していく。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	13	0	送迎時、保護者とその日の子どもの状況などお伝えし、共有している。連絡帳に記録したり口頭で伝えている
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	10	3	今後行っていくことを検討する。
保護者への説明責任等	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	13	0	契約時に行っている。
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	13	0	6か月に1回は行っている。
	㉞	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	11	2	定期的ではないが、送迎時、面談時、実施できている。送迎時の時間以外ゆっくり時間を作ることは希望により個別に対応。
	㉟	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	11	今年はコロナ禍で父母の会等必要以上に人が集まる事を控える事となった。今後開催できたらいいと思う。コロナの状況を見て、父母の会について検討していく。
	㊀	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13	0	何かあればすぐに対応している。
	㊁	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	12	1	月1回の会報、日々の様子は毎回写真付きで連絡帳で報告をしている。
	㊂	個人情報の取扱いに十分注意しているか	12	1	情報共有の場としてLINEがツールになっているのは良いのかどうか不明。鍵つき車庫にしまって外部への漏れには気を付けている。

	③⑨	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	13	0	障がいや、その児童に合わせて声かけや対応を考え、配慮している。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	10	コロナ禍のため、行えなかった。今後検討していきたい。
非常時の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	10	3	災害訓練(地震・火事)は定期的を実施しているが、他のマニュアル、訓練は実施していない。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	13	0	171の説明や、避難訓練実施。
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	13	0	個人ファイルを作成し、確認できるようにしている。指示書受け取り時、毎日確認。
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	13	0	契約時にアレルギーを記載して頂いて対応は確認。
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	9	事例集作成はないが、日々何かあった時は小さな事でもカルテ等書類に記載し朝礼や終礼で共有されている。改善案を話し合っている。
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	8	虐待事案が発生していない。研修を検討する。
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	2	11	肩が脱臼しやすい児について肩バンドをするかどうか保護者に確認する等慎重に対応している。東京都区市町村からの情報を元に身体拘束についての情報共有を行い、事業所内で話し合い保護者に確認し記録していく。今のところ児童発達支援計画に記載する状態の児は居ない。